

# 災害に強いまちづくりシンポジウム

- 「災害に強い地域づくり」推進のため、平成25年度より自治体職員向けのシンポジウムを開催。
- 官民一体となった意識醸造を目的に、初めて民間企業(中部経済連合会)を交えた意見交換会を実施。
- 意見交換会の主な意見
  - ・企業は災害で事業継続できない損失は非常に大きい。建築物等のリスクを認識する意識がある。
  - ・役所は防災とまち担当などの風通しを良くし、国・県・市が連携しより良い方向に結実する取組が必要。
  - ・被災後の復旧・復興をあらかじめ考えておく事前復興計画を準備しておく必要がある。

- 日時：令和5年2月1日(水) 15:00~17:30
- 場所：栄ガスビル ガスホール及びTeamsによるWEB配信
- 主催者：中部地方整備局
- 参加者数：対面 約50名 WEB 約90名 合計約140名
- プログラム
  - ・開会あいさつ(中部地方整備局 建政部長)
  - ・減災とまちづくりに関する最近の動向(福和氏)
  - ・災害に強いまちづくりについて(中部地方整備局)
  - ・意見交換会(講演者及び中経連)
    - 南海トラフ臨時情報の周知に関する豊橋市の取組(豊橋市)
    - 建築物の耐震化への課題と取組み(名古屋市)

あいち・なごや  
強靱化共創センター長  
福和氏による基調講演

### 南海トラフ地震 臨時情報

観測した異常な現象  
南海トラフの想定震源域  
またはその周辺で  
M6.8程度の以上の地震が発生

南海トラフの想定震源域  
またはその周辺で  
通常とは異なる  
ゆっくりに揺れが  
発生した可能性

異常な現象に  
対応する詳細

気象庁が「南海トラフ地震臨時情報(震害中)」を発表

気象庁から南海トラフ沿いの地震に関する詳細情報を受け、  
起こった現象を評価

プレート境界の  
M6以上  
の地震(震3)

M7以上  
の地震(震2)

震3(ひずみ付)  
(震1)

震3の発生を  
測りこまない  
場合

評価の結果  
発表される情報

南海トラフ地震  
臨時情報  
(巨大地震警戒)

南海トラフ地震  
臨時情報  
(巨大地震注意)

南海トラフ地震  
臨時情報  
(巨大地震警戒)

- 地震学:様々な見解、偏り報道
- 土砂・津波警戒地域・未耐震建物
- エレベータ
- 大型船の入港、出船保留、安全確保
- 海拔0m地帯や海上施設の孤立防止
- 道路・鉄道の継続・迂回、責任論
- 事前避難時の車の扱い
- 医療・福祉の継続・選避
- 株価・為替、地震保険、リスク移転
- 緊急地震速報活用、社会機能維持

意見交換会の様子

